

患者さんへ – 研究に関するお知らせ –

2025年6月3日

「neoDRATSを用いたロボット支援下肺切除術に関する後方視的研究」について

当院では、これまでにロボット支援下肺切除術(RATS)を受けられた患者さんの診療記録をもとに、新たに導入した手術手技「neoDRATS」の有用性を検証する研究を行っています。

この研究は、過去の診療記録を用いて行う後方視的な観察研究であり、患者さんへの新たな負担や診療への影響は一切ありません。

研究にご協力いただけない場合でも、診療において不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の対象となる方

2018年10月～2025年4月に当院でRATSによる肺切除術を受けられた患者さんのうち、所定の条件に合致する方(約179名)

2. 研究課題名

「Gerfolio法を超え得るか？低侵襲性と精緻な術中操作性の両立を追求したneoDRATSの可能性」

3. 研究目的・方法

研究の目的：

低侵襲性と精密操作性を両立した新たな手術手技「neoDRATS」の臨床的有用性を検証し、将来のより安全で低侵襲な外科治療の発展に役立てることを目的としています。

方法：

診療録(カルテ)や手術記録に記載された情報(年齢、性別、病歴、手術方法、術後経過など)を匿名化して利用します。氏名、生年月日など個人を特定できる情報は研究には使用しません。

研究実施期間：

研究許可日～西暦2025年12月31日

この研究は、NTT東日本札幌病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

4. 研究に用いる情報の種類

治療を受けた施設名、患者さんの基本情報(生年月日、性別、入院日、手術日、身長、体重、併存疾患、喫煙状態など)、検査に関する情報(画像検査所見、血液検査結果、呼吸機能検査結果な

ど)、手術情報(手術術式、手術時間、出血量、最大創長、創の数、リンパ節郭清範囲など)、病理診断情報(組織型、腫瘍径、病期分類、遺伝子変異検査結果など)、周術期情報(退院日、術後合併症、術後補助療法など)、予後情報(再発有無の状態やお亡くなりになった方の死因など)といった各種の情報を集めます。

5. 個人情報等の取扱い

個人情報保護に十分配慮し、匿名化データとして厳重に管理します。

6. この研究にご自身のデータを利用してほしくない場合

研究対象となることを希望されない場合は、以下の連絡先までお申し出ください。

お申し出がない場合には、同意いただいたものとみなして研究にご協力いただきますので、あらかじめご了承ください。

【お申し出窓口】

NTT 東日本札幌病院 呼吸器外科

担当医師：道免 寛充

電話番号：011-623-7000（代表）

受付時間：平日 9:00～17:00